最近の経済動向

平成27年7月号

（平成27年5月の経済指標を中心として）

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

［需要動向（消費・投資）］

Ｐ 1 ■個人消費 ～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数

Ｐ 2 ■住宅建設 ～ 下げ止まりつつある
新設住宅着工戸数

Ｐ 3 ■公共工事 ～ 減少している
公共工事請負金額

Ｐ 3 ■観　　光 ～ 改善している
来道客数

Ｐ 4 ■輸　出　入 ～輸出額、輸入額とも前年を上回った
輸出入額

［生産動向］

Ｐ 5 ■生産活動 ～ 一部に弱い動きがみられる
鉱工業生産指数

Ｐ 5 ■電　　力 ～ 前年を下回った
電力需要

Ｐ 6 ■企業倒産 ～ 件数は減少したが、負債総額は増加した
倒産件数
負債総額

［雇用動向］

Ｐ 7 ■求人・求職～ 緩やかに改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率

Ｐ 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

［物価動向］

Ｐ 8 ■物　　価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

［企業情報］

Ｐ 9 ■企業のみなさまから伺いました

［地域の経済動向］

Ｐ 10 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

［景気動向指数・全国の景気］

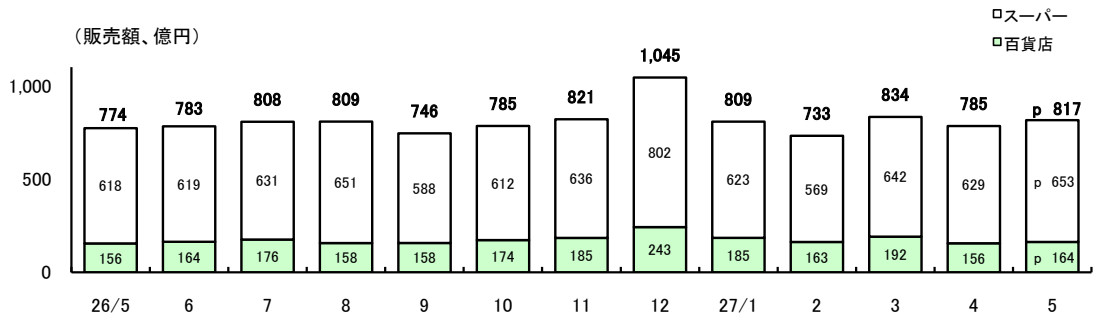
Ｐ 16 ■北海道の景気動向指数
Ｐ 17 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

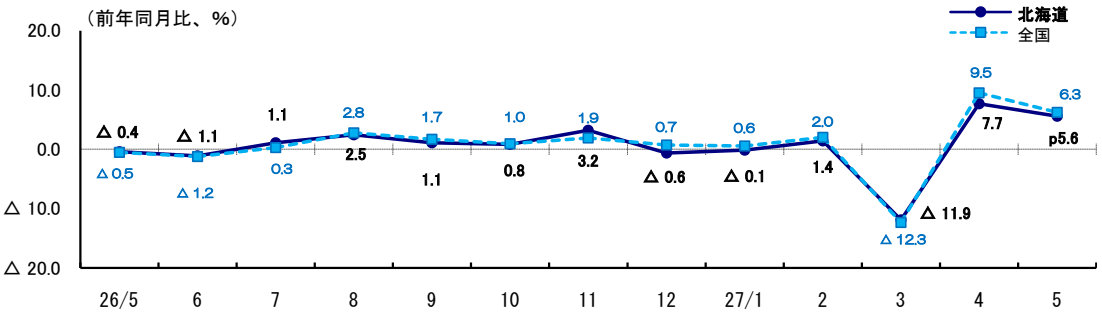
■個人消費 ～　　緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆大型小売店(全店)販売額（５月）◆

大型小売店販売額は、 817億円で前年同月比5.6%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



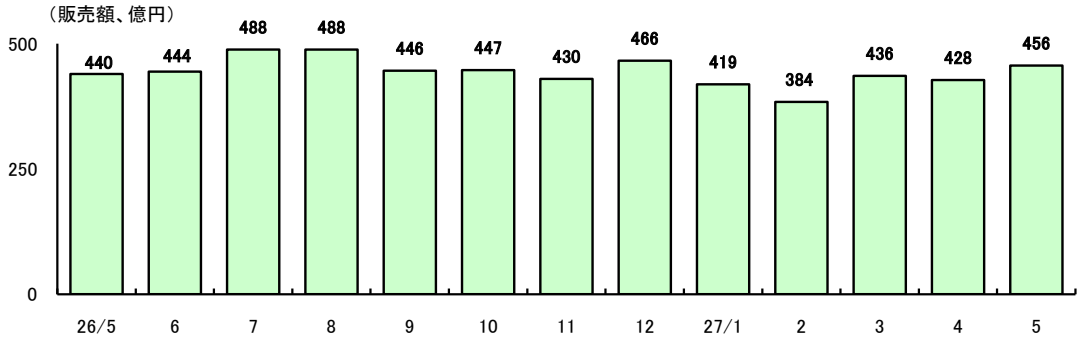
（注）pは速報値（以下同様）

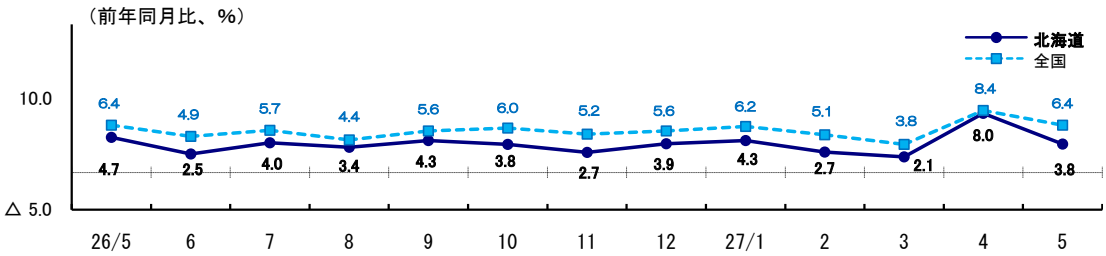


（経済産業省、北海道経済産業局調べ）

◆コンビニエンスストア(全店)販売額（５月）◆

コンビニエンスストア販売額は、456億円で前年同月比3.8%の増加となり、20か月連続で前年を上回った。

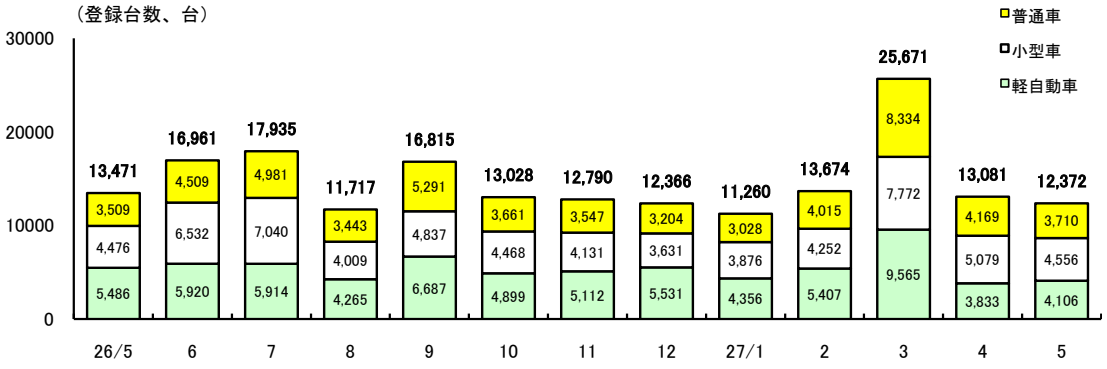


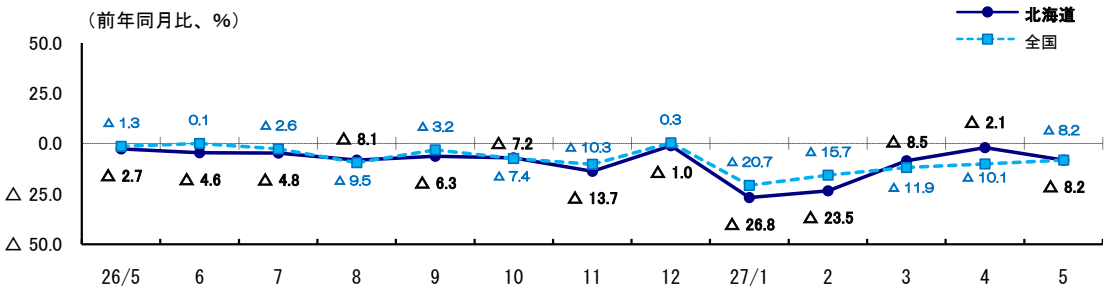


（経済産業省、北海道経済産業局調べ）

◆新車登録台数（５月）◆

新車登録台数は、12,372台で前年同月比8.2%の減少となり、14か月連続で前年を下回った。



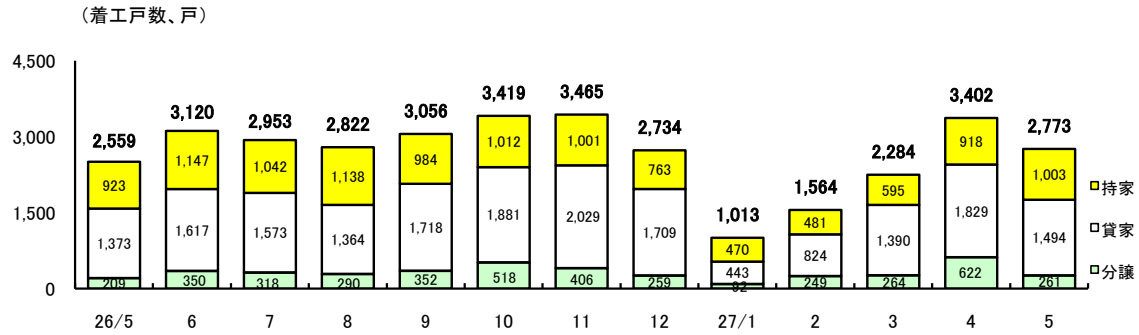


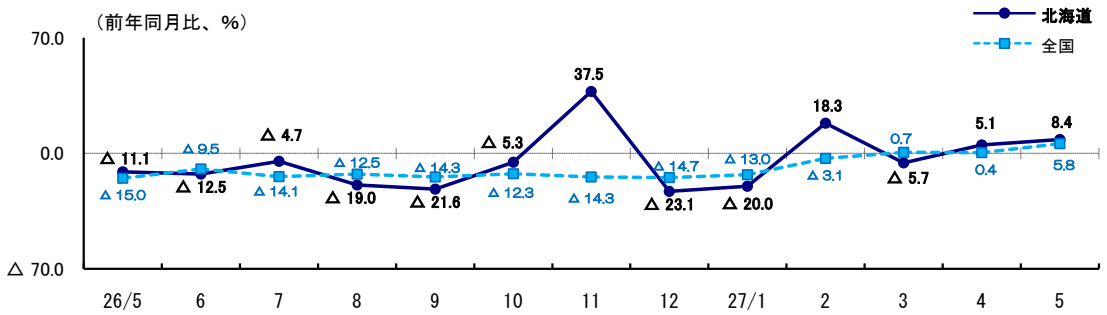
（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ）

■住宅建設 ～　　下げ止まりつつある

◆新設住宅着工戸数（５月）◆

総戸数は、2,773戸で前年同月比8.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



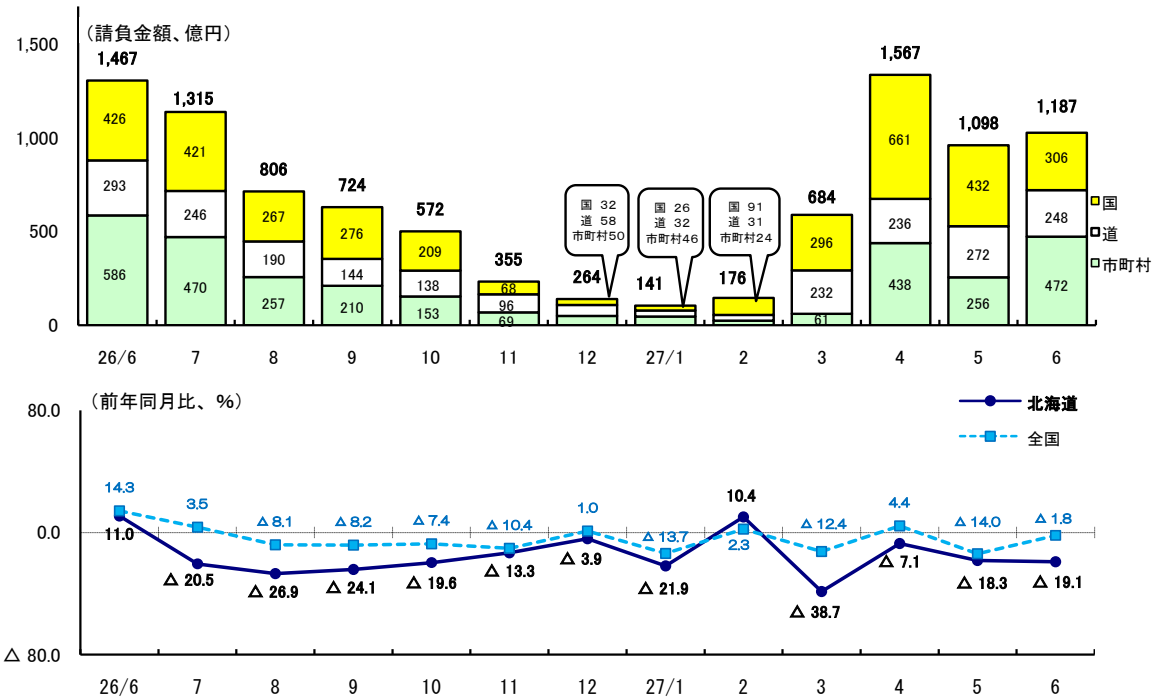


（国土交通省住宅局調べ）

■公共工事 ～　　減少している

◆公共工事請負金額（６月）◆

請負金額は、1,187億円で前年同月比19.1%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

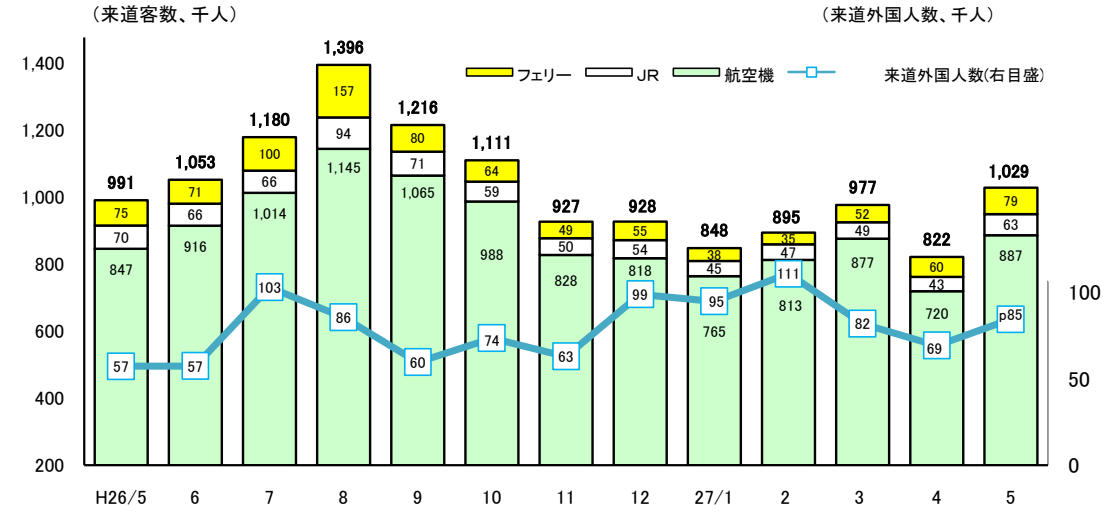


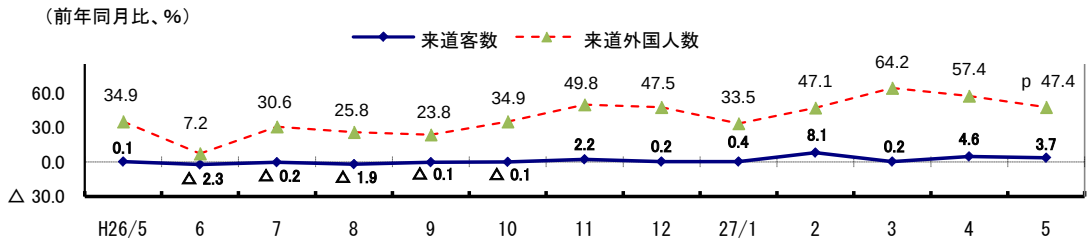
（北海道建設業信用保証(株)調べ）

■観　　光 ～　　改善している

◆来道客数（５月）◆

来道客数は、102万9千人で前年同月比3.7%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、8万5千人で同47.4%の増加となり、28か月連続で前年を上回った。



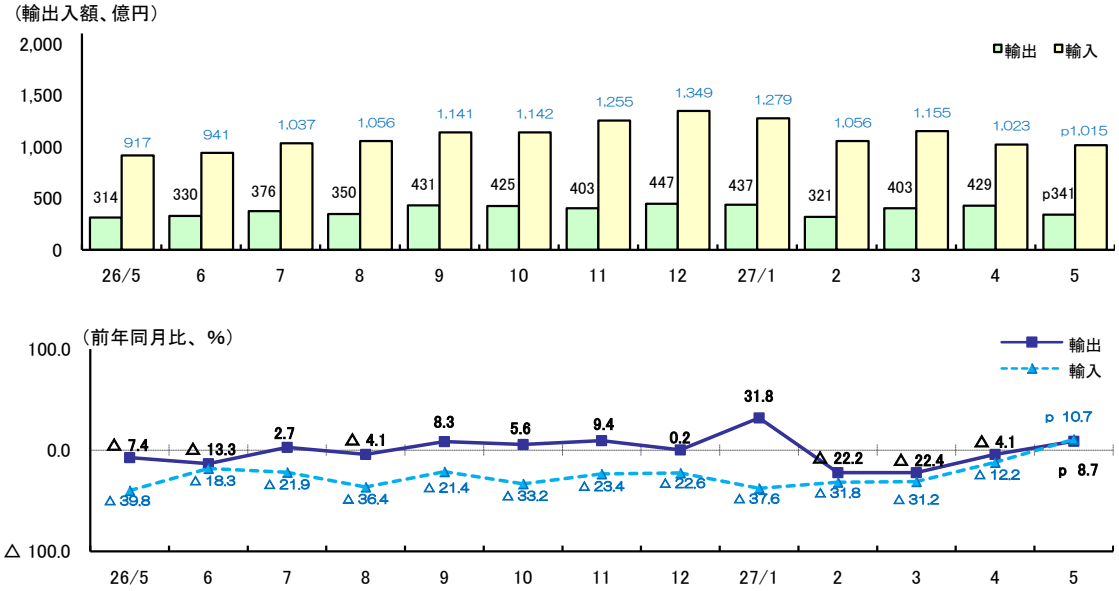


（(社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局調べ）

■輸　出　入 ～　　輸出額、輸入額とも前年を上回った

◆輸出入額（５月）◆

輸出額は、341億円で前年同月比8.7%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。
輸入額は、1,015億円で同10.7%の増加となり、14か月ぶりに前年を上回った。



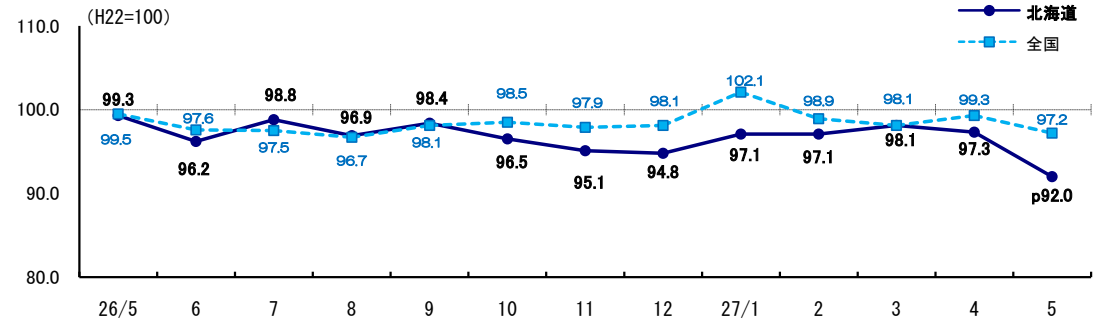
（財務省、函館税関調べ）

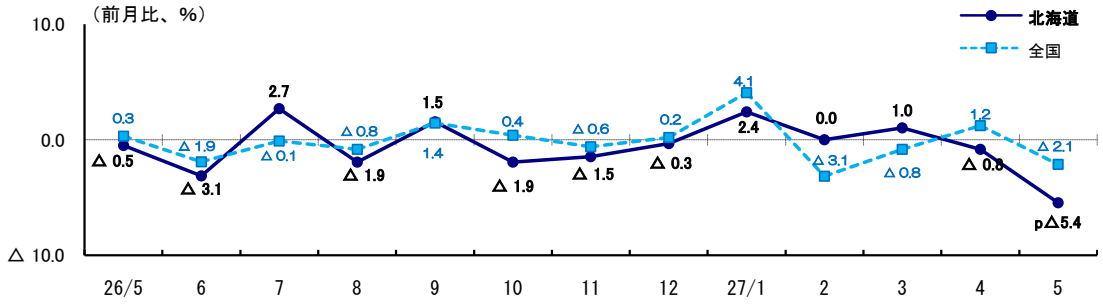
[生産動向]

■生産活動 ～　　一部に弱い動きがみられる

◆鉱工業生産指数（５月）◆

鉱工業生産指数(季節調整済)は、92.0で前月比5.4%の減少となり2か月連続低下した。



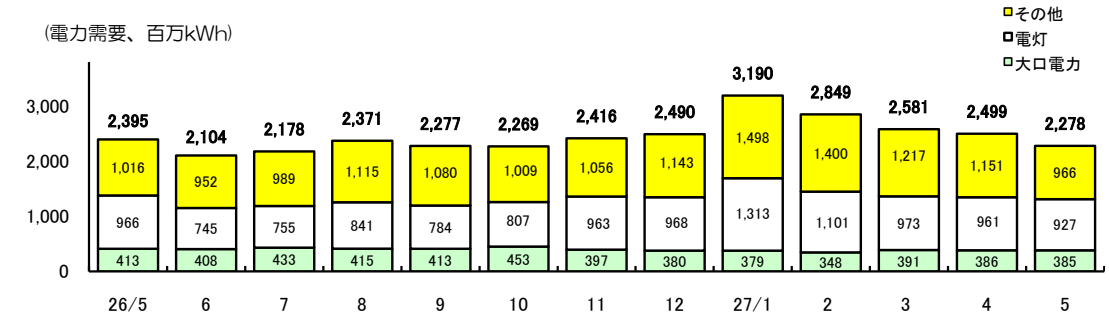


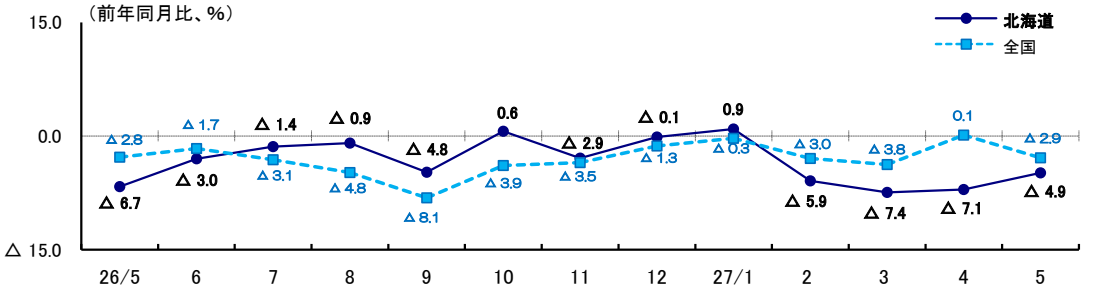
(北海道経済産業局調べ)

■電　　力 ～　　前年を下回った

◆電力需要（５月）◆

電力需要は、2,278百万kWhで前年同月比4.9%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



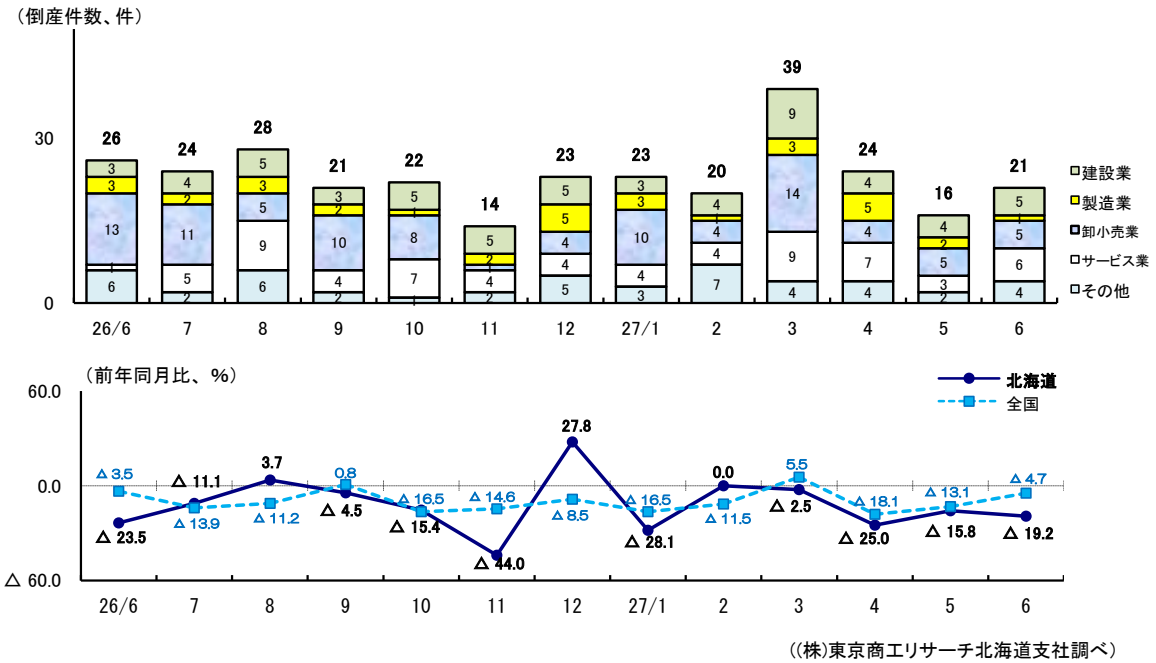


(電気事業連合会調べ)

■企業倒産 ～　件数は減少したが、負債総額は増加した

◆企業倒産件数（６月）◆

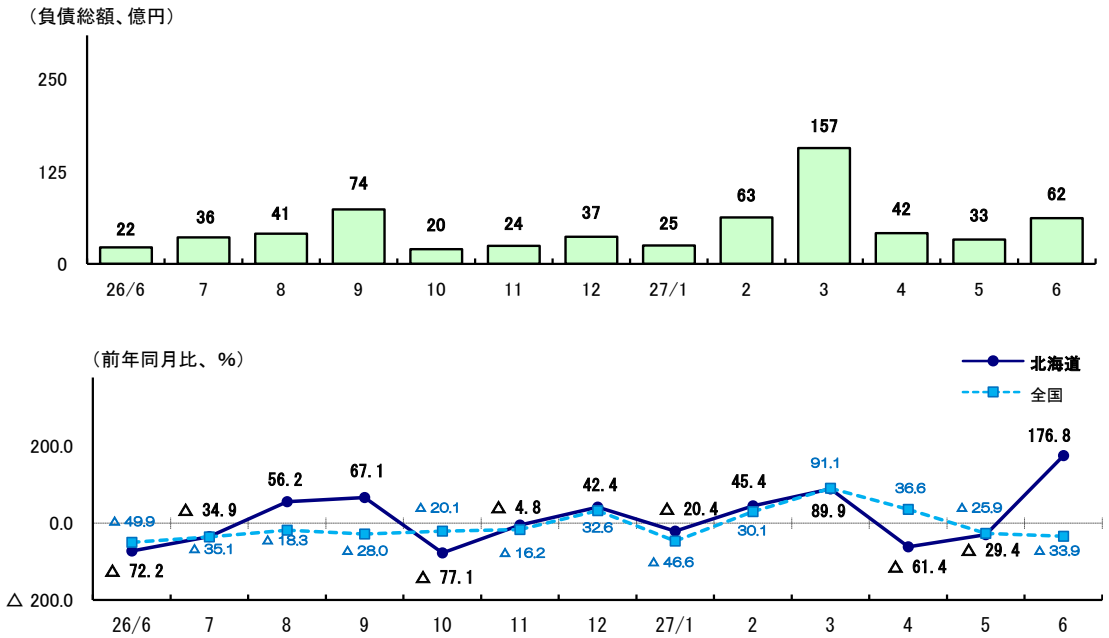
企業倒産件数は、21件で前年同月比19.2%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



（(株)東京商エリサーチ北海道支社調べ）

◆負債総額（６月）◆

負債総額は、62億円で前年同月比176.8%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。



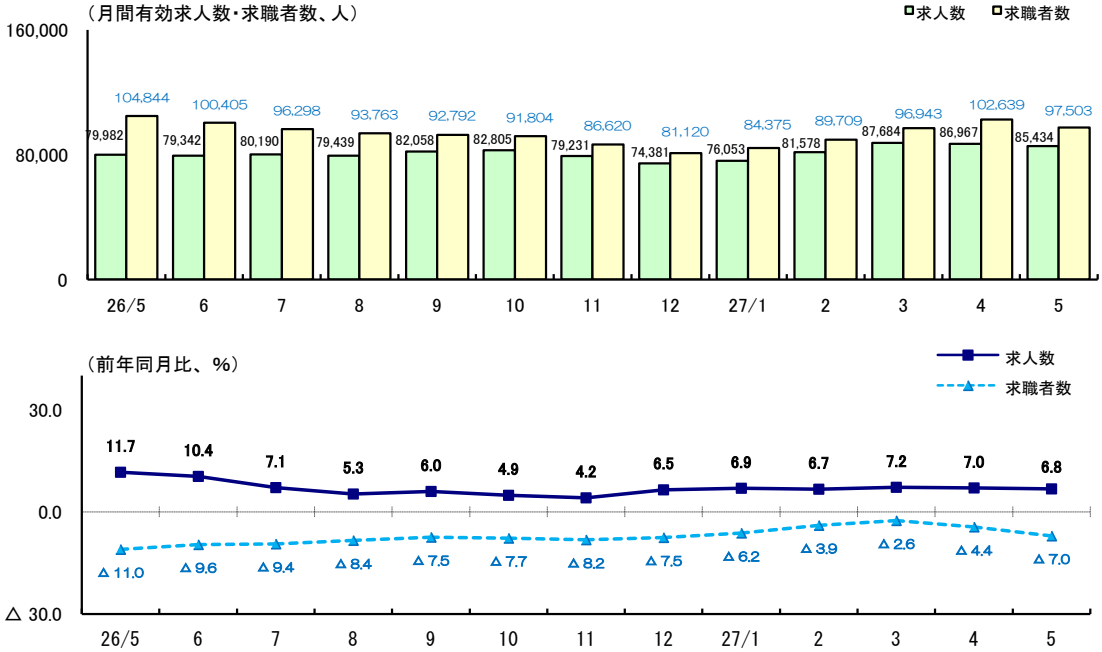
（(株)東京商エリサーチ北海道支社調べ）

[雇用動向]

■求人・求職～　　緩やかに改善している

◆月間有効求人数・求職者数（５月）◆

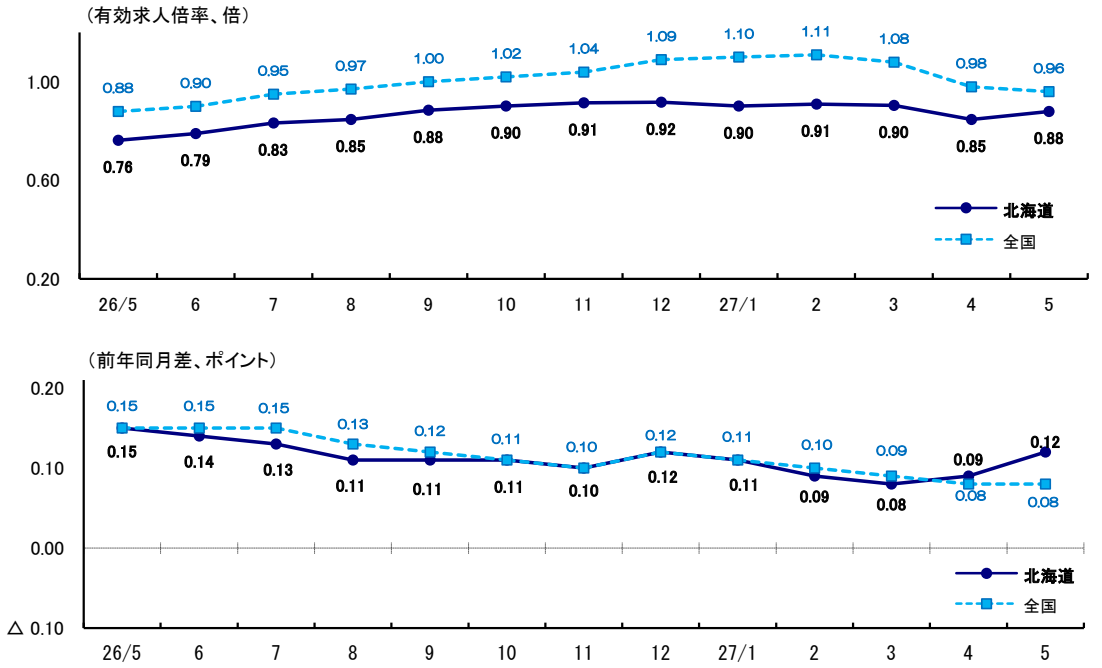
月間有効求人数は、8万5,434人で前年同月比6.8%の増加となり、64か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、9万7,503人で同7.0%の減少となり、43か月連続で前年を下回った。



（厚生労働省及び北海道労働局調べ）

◆有効求人倍率（５月）◆

有効求人倍率は、0.88倍で前年同月差で0.12ポイントの増加となり、64か月連続で前年を上回った。

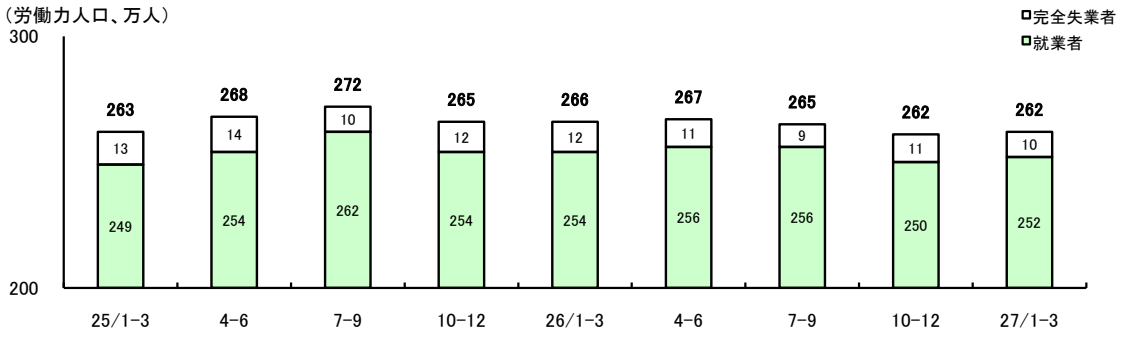


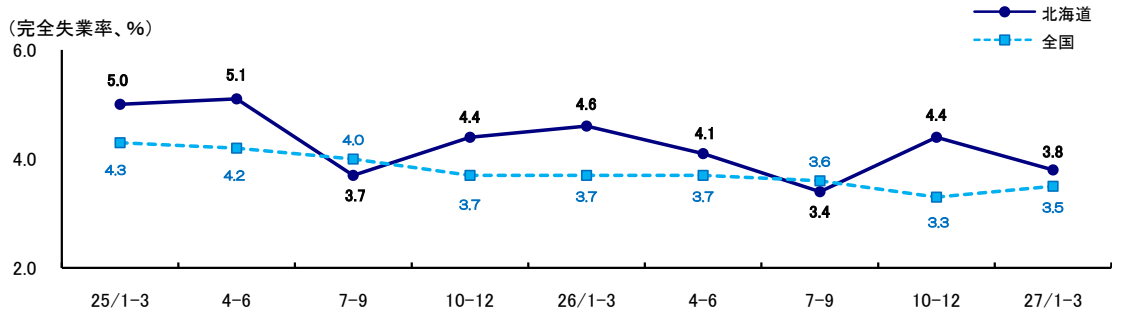
（厚生労働省及び北海道労働局調べ）

■失業

◆完全失業者数、完全失業率（27年1-3月期）◆

完全失業者数は、10万人で前年同期と比べ2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.8%で前年同期から0.8ポイント減少した。





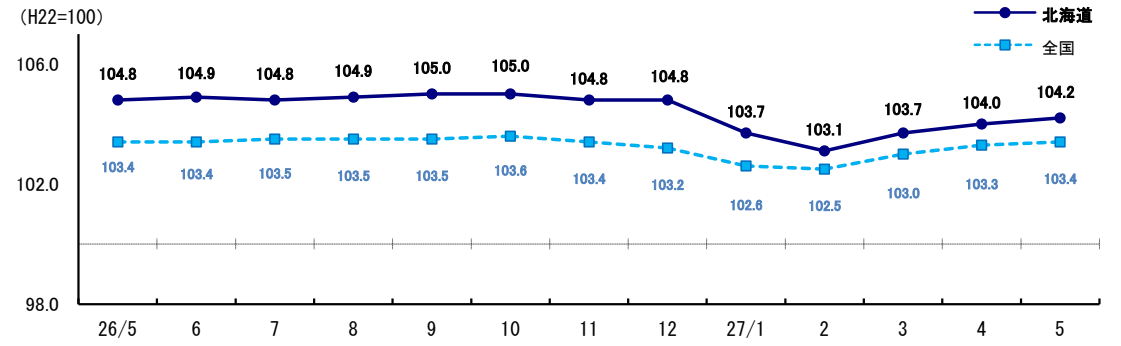
（総務省調べ）

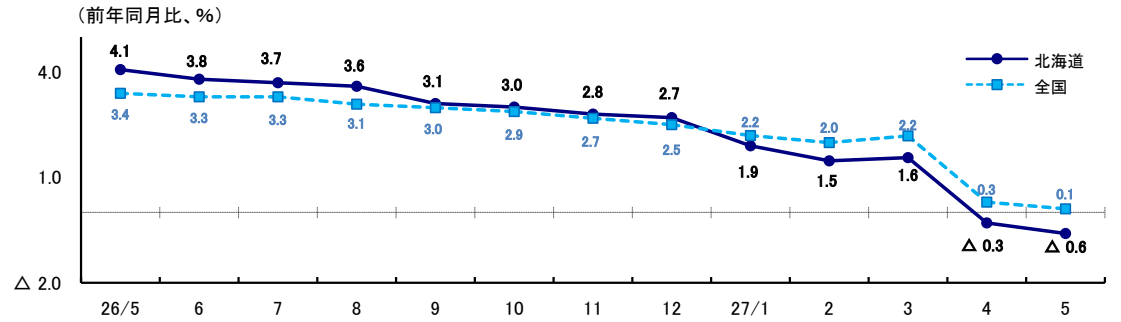
[物価動向]

■物　　価 ～　　消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（５月）◆

消費者物価指数は、104.2で前年同月と比べ0.6%の低下となり、2ヶ月連続して前年を下回った。





（総務省調べ）

［企業情報］

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店　（６月）

【売上は前年同月を若干下回った】

父の日やお中元ギフトの商品が比較的好調だったことに加え、富裕層の顧客による高級時計、宝飾品などの売上げは増加したが、上旬から中旬にかけて天候に恵まれなかったことから、来店客数が減少し、主力商品である婦人服の売上が伸びず、売上は前年同期を下回る結果となった。

【来道外国人の動きに期待】

外国人観光客の増加に伴って、特選ブランドや日本製化粧品の売上が好調に推移している。

また、本道に長期滞在している外国人が生鮮食品やフルーツを購入するなど、新たな動きが見られ始めた。

◆スーパー　（６月）

【雨の日が多かったものの売上は横ばい】

６月は、日照時間が少なく雨の日が多かったことや前年より日曜日が１日少なかったものの、積極的な販促に取り組んだ結果、客足は、概ね横ばいで推移した。

また、生育不良などで価格が高かった葉物・根菜などの野菜類、豚肉、牛肉などの肉類や弁当などのデリカ部門で売上が伸びたため、全体としては、前年とほぼ同水準の売上高となった。

◆コンビニエンスストア（６月）

【天候の影響を受けるも観光客の入り込みは好調】

６月は、雨の日が多いなど、天候に恵まれなかったことから、来客数は減少したが、購入単価が上昇したことで、前年と比較して、売上は横ばいで推移した。

特に、第１・４週目は前年と比較して気温が低く、飲料水、アイスなどの夏型商品を中心に売上が減少したが、３週目が年金の支給週だったこともあり、２・３週目の累計は前年以上の売上となった。

年金、給与、ボーナスなどの支給日には売上が高くなり、それ以外の日は低くなる傾向が強まっており、普段の消費意欲が弱まっているのではないかと推測している。

観光客、特に外国人観光客の入り込みが好調であることから、観光地やホテル周辺の動きは比較的良くなってきている。

◆洋菓子製造販売業（６月）

【売上は堅調に推移】

６月は主力商品を中心に好調な売れ行きであったことから、売上が前年同月と比べ若干増加するなど、堅調に推移していると考えている。

特に来道観光客が増加していることから、お土産としての需要が多く、なかでも日持ちのする焼き菓子の売れ行きが良かったことが、売上増に繋がったもの。

【電気料金値上げの影響や設備投資など】

円安の影響による輸入原材料の価格上昇や電気料金の値上げなど、厳しい環境の中ではあるが、照明のLED化などに取り組むほか、設備投資については、売上が好調な主力商品などの製造ラインを増やすなど、必要な設備については、積極的に投資していく予定である。

【販路の拡大について】

今年度中に首都圏、関西圏など国内を中心に１０店舗ほど出店する予定であり、海外についても東南アジアなどを中心に年内にライセンス契約を結び、出店したいと考えている。

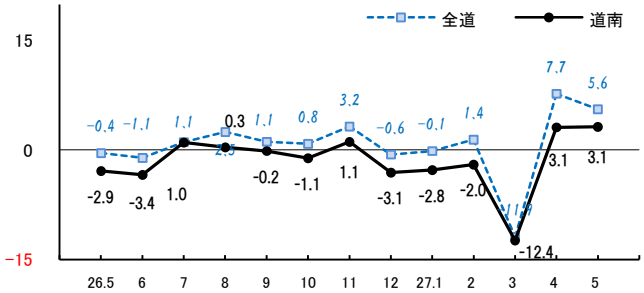
［地域の経済動向］

■道南圏

◆大型小売店販売額(全店、函館市) (5月)◆

2か月連続で前年を上回った

（前年同月比：%）

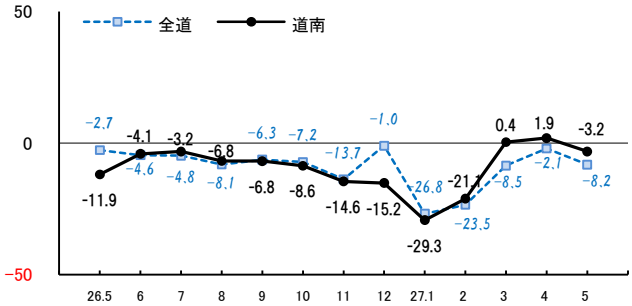


（北海道経済産業局調べ）

◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆

3か月ぶりに前年を下回った

（前年同月比：%）

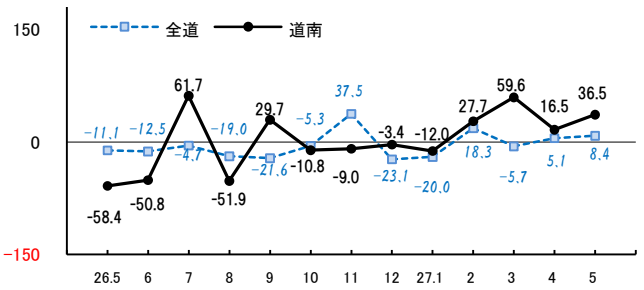


（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ）

◆新設住宅着工戸数 (5月)◆

4か月連続で前年を上回った

（前年同月比：%）



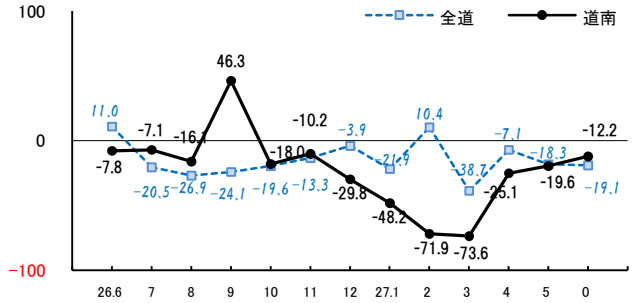
※町村を除く

（国土交通省調べ）

◆公共工事請負金額 (6月)◆

9か月連続で前年を下回った

（前年同月比：%）

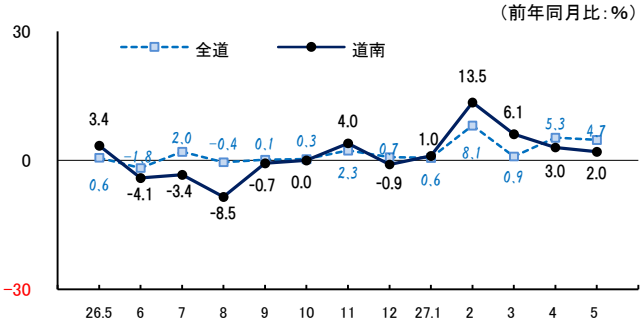


（北海道建設業信用保証(株)調べ）

◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆

5か月連続で前年を上回った

（前年同月比：%）

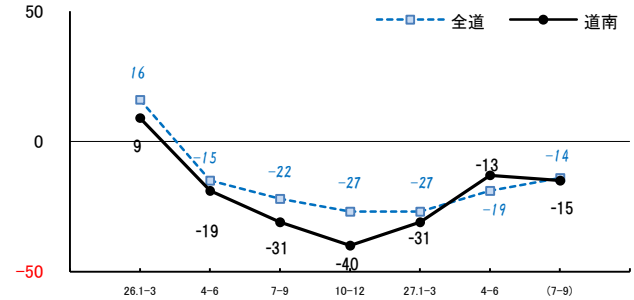


（北海道観光振興機構調べ）

◆企業の業況感 (４－６月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

（ＢＳＩ：ポイント）



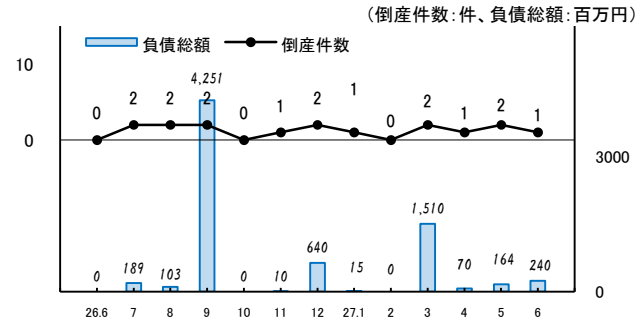
※最新期（ ）は見通し

（北海道経済部調べ）

◆企業倒産件数・負債総額 (6月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

（倒産件数：件、負債総額：百万円）

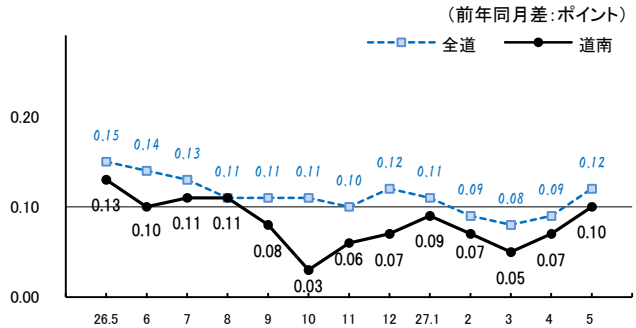


（(株)東京商工リサーチ調べ）

◆有効求人倍率 (5月)◆

61 か月連続で前年を上回った

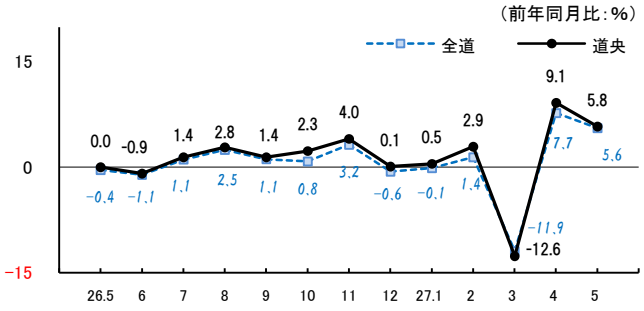
（前年同月差：ポイント）



（北海道労働局調べ）

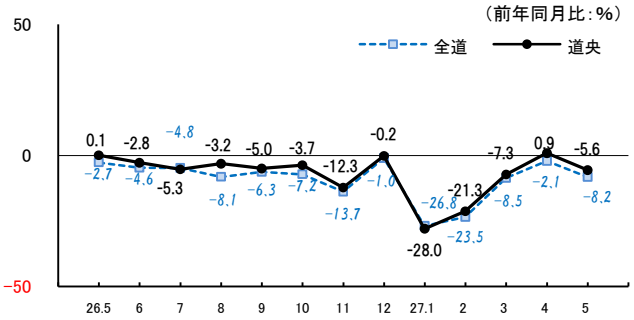
■道央圏

◆大型小売店販売額（5月）◆
（全店、札幌市･小樽市･苫小牧市･室蘭市）
2か月連続で前年を上回った



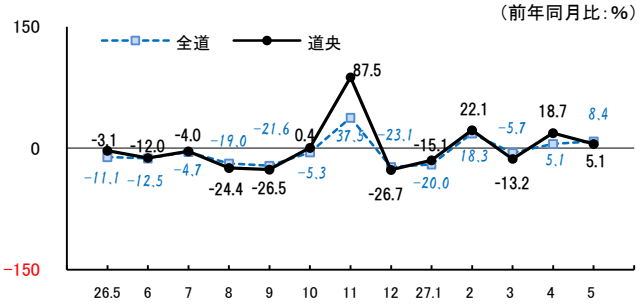
（北海道経済産業局調べ）

◆新車登録台数(乗用車)（5月）◆
2か月ぶりに前年を下回った



（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ）

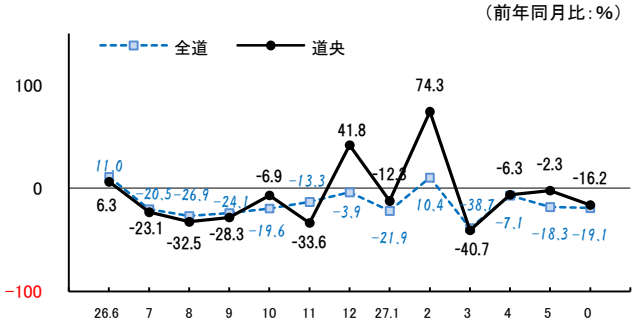
◆新設住宅着工戸数（5月）◆
2か月連続で前年を上回った



※町村を除く

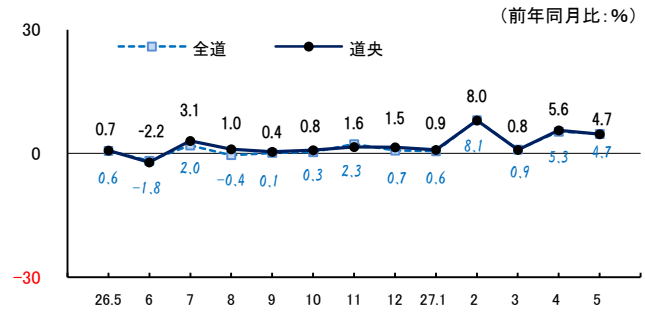
（国土交通省調べ）

◆公共工事請負金額（6月）◆
4か月連続で前年を下回った



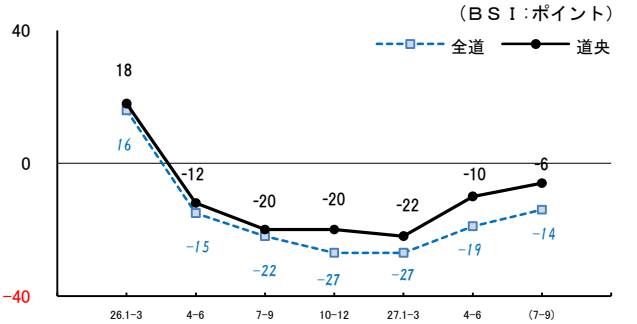
（北海道建設業信用保証（株）調べ）

◆航空機利用による来道者数(着地別)（5月）◆
11か月連続で前年を上回った



（北海道観光振興機構調べ）

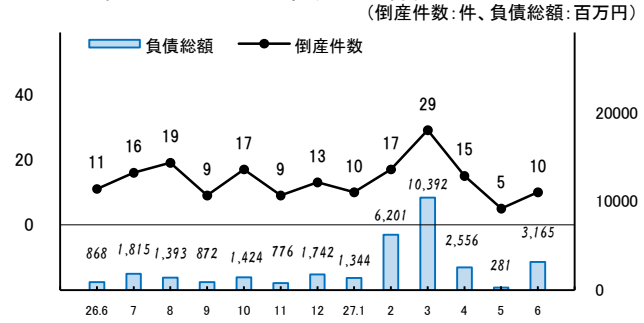
◆企業の業況感（４－６月期）◆
前期からマイナス幅が縮小した



※最新期（ ）は見通し

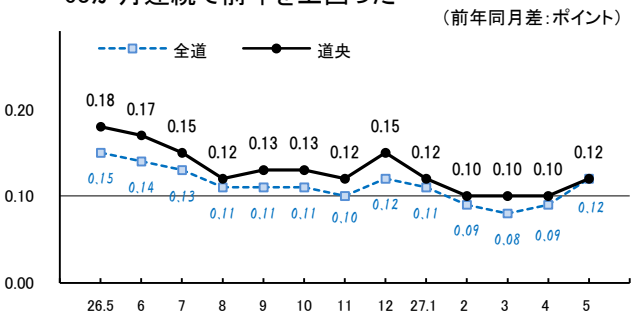
（北海道経済部調べ）

◆企業倒産件数・負債総額（6月）◆
10億円以上の大型倒産が1件発生した



（(株)東京商エリサーチ調べ）

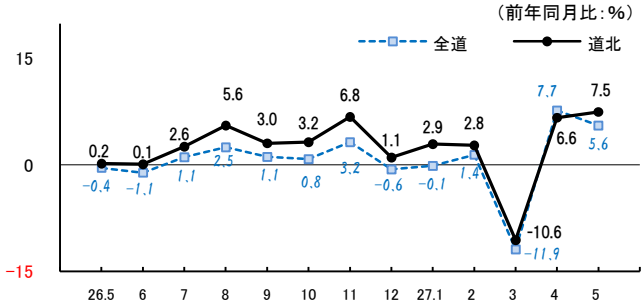
◆有効求人倍率（5月）◆
63か月連続で前年を上回った



（北海道労働局調べ）

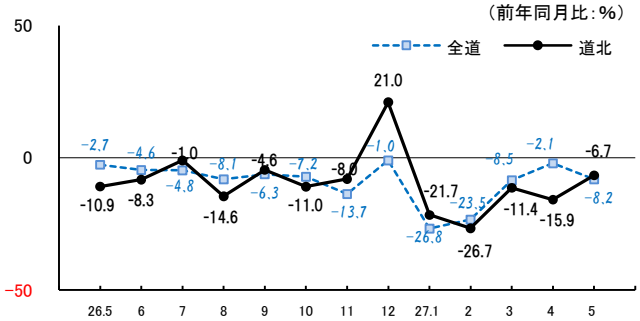
■道北圏

◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



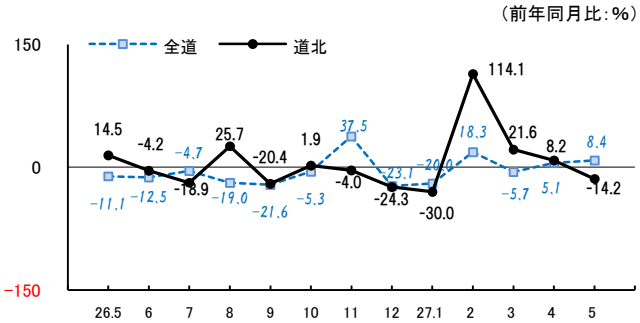
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆
5か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

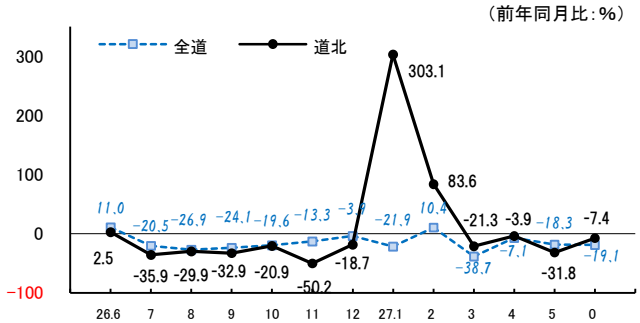
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆
4か月ぶりに前年を下回った



※町村を除く

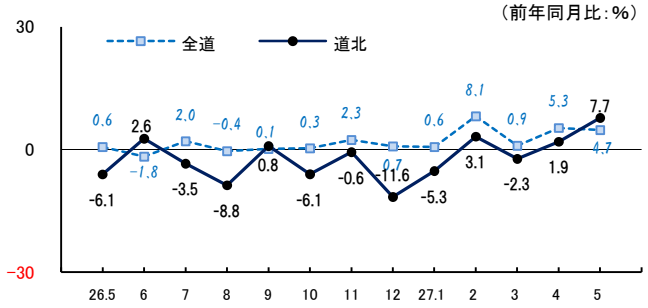
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (6月)◆
4か月連続で前年を下回った



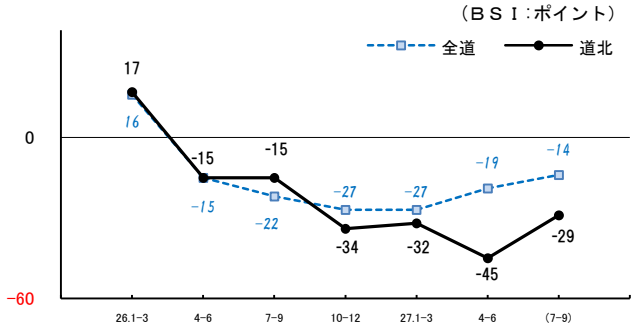
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

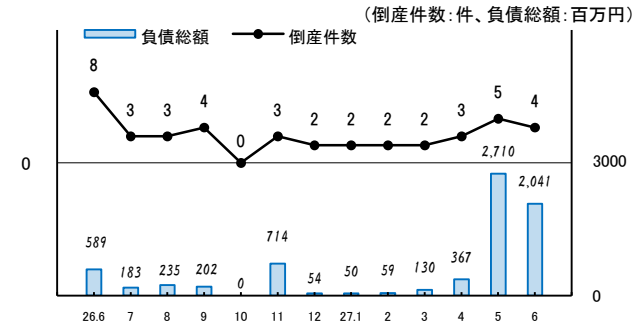
◆企業の業況感 (4−6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



※最新期( )は見通し

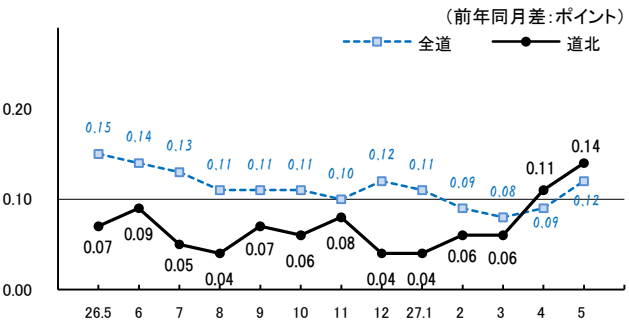
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (6月)◆
10億円以上の大型倒産が1件発生した



((株)東京商エリサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (5月)◆
65か月連続で前年を上回った

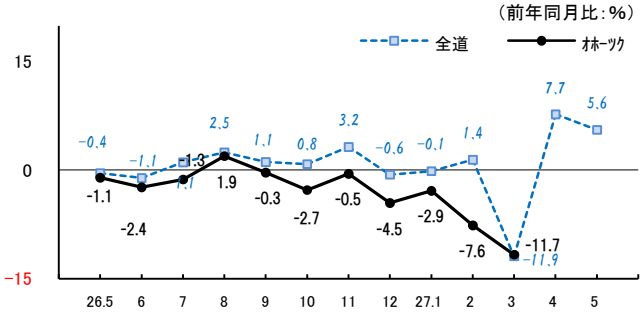


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(３月)◆

7か月連続で前年を下回っている

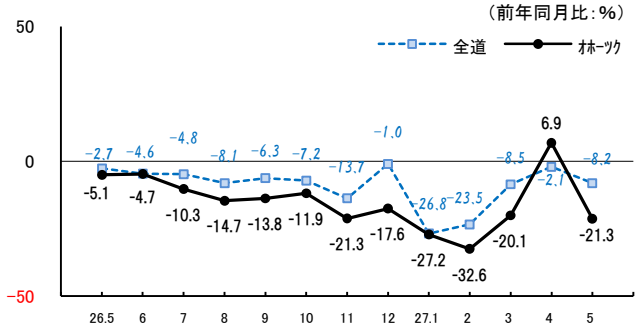


※全道は大型小売店販売額

（財務局北見出張所調べ）

◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆

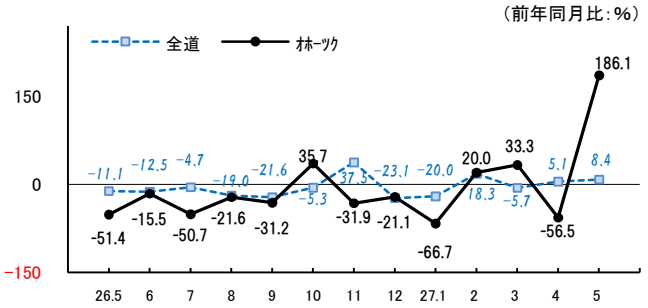
2か月ぶりに前年を下回った



（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ）

◆新設住宅着工戸数 (5月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

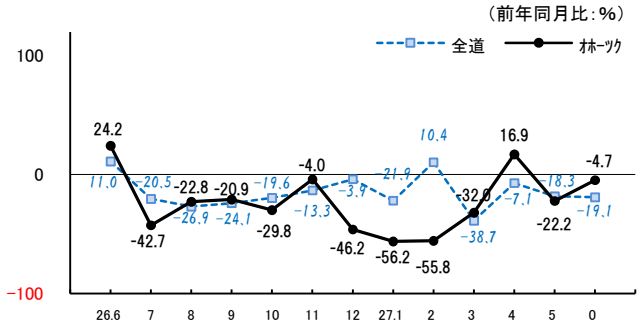


※町村を除く

（国土交通省調べ）

◆公共工事請負金額 (６月)◆

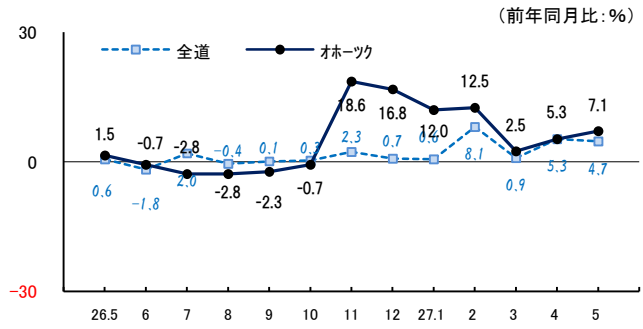
2か月連続で前年を下回った



（北海道建設業信用保証(株)調べ）

◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆

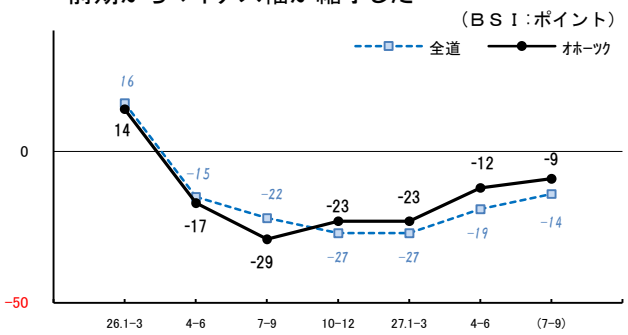
7か月連続で前年を上回った



（北海道観光振興機構調べ）

◆企業の業況感 (4−6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

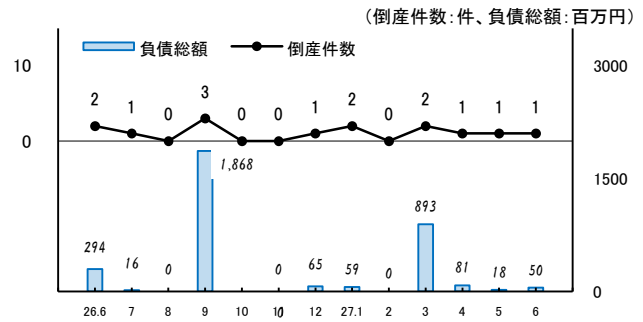


※最新期（ ）は見通し

（北海道経済部調べ）

◆企業倒産件数・負債総額 (6月)◆

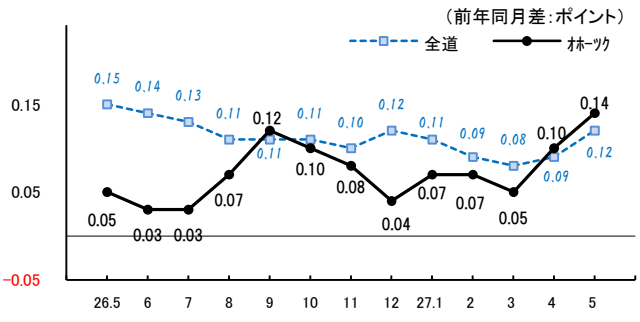
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



（(株)東京商エリサーチ調べ）

◆有効求人倍率 (5月)◆

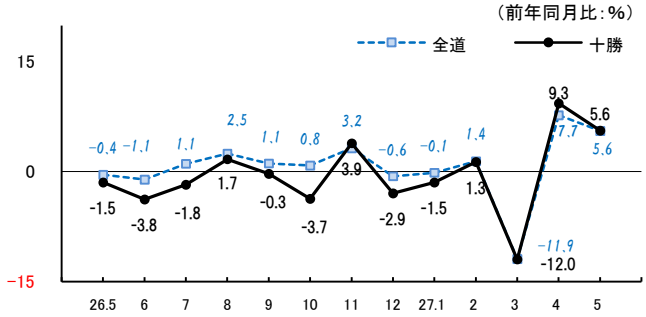
68か月連続で前年を上回った



（北海道労働局調べ）

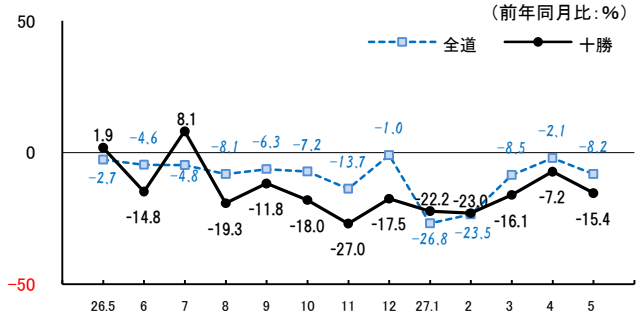
■十勝圏

◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



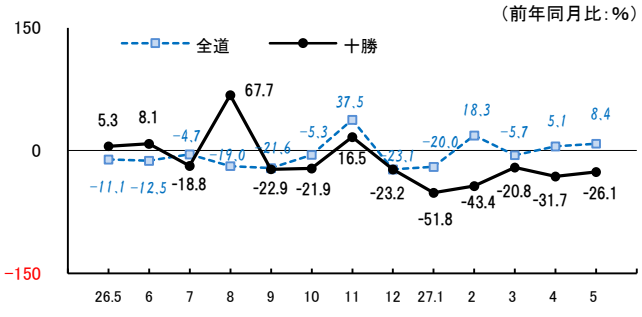
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆
10か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

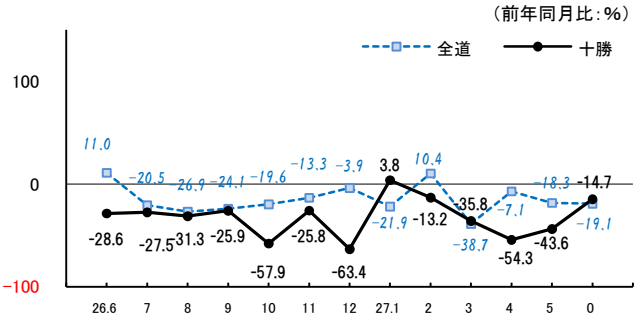
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆
6か月連続で前年を下回った



※町村を除く

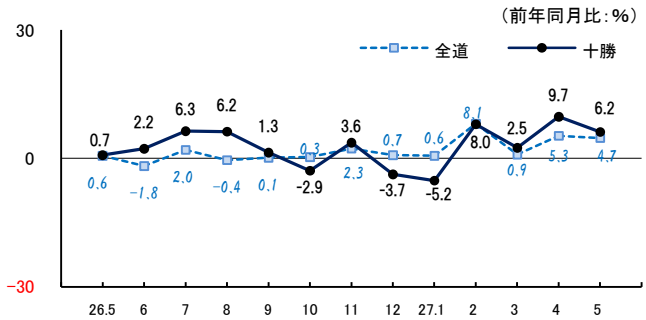
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (6月)◆
5か月連続で前年を下回った



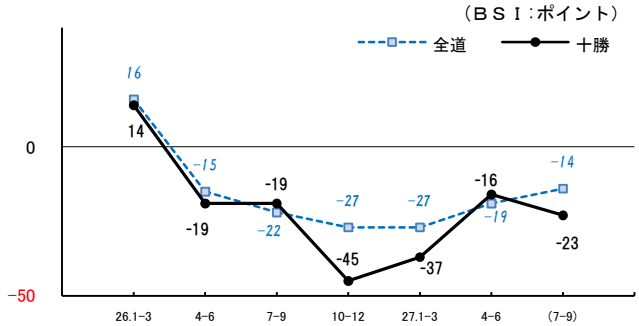
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆
4か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

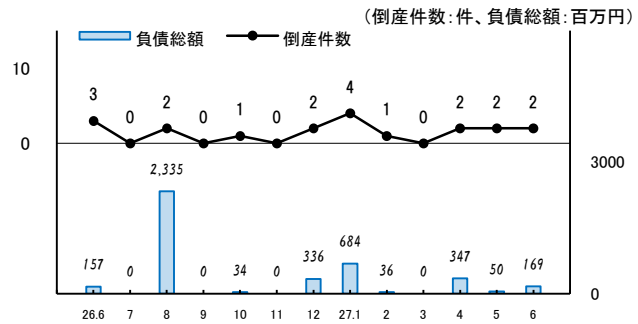
◆企業の業況感 (4−6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



※最新期( )は見通し

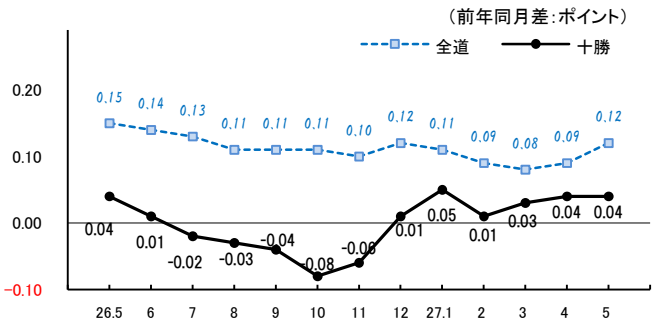
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (6月)◆
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商エリサーチ調べ)

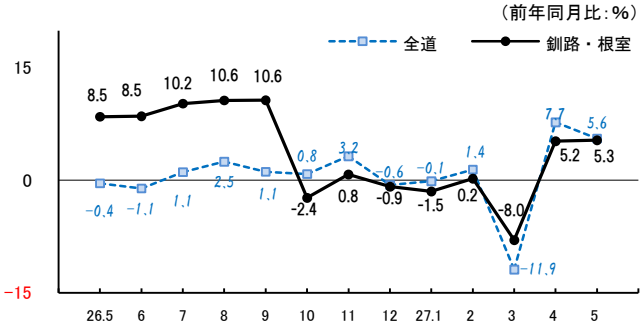
◆有効求人倍率 (5月)◆
6か月連続で前年を上回った



(北海道労働局調べ)

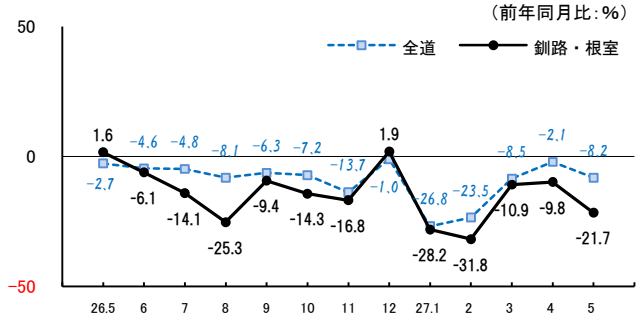
■釧路・根室圏

◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



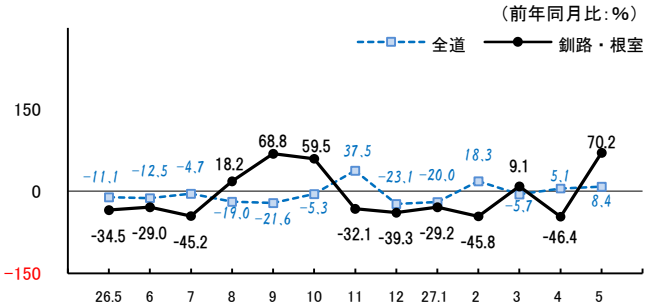
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆
5か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

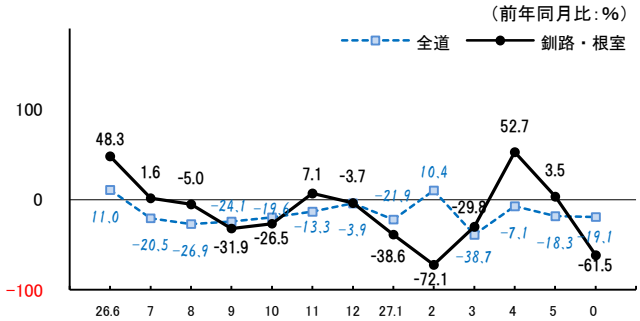
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆
2か月ぶりに前年を上回った



※町村を除く

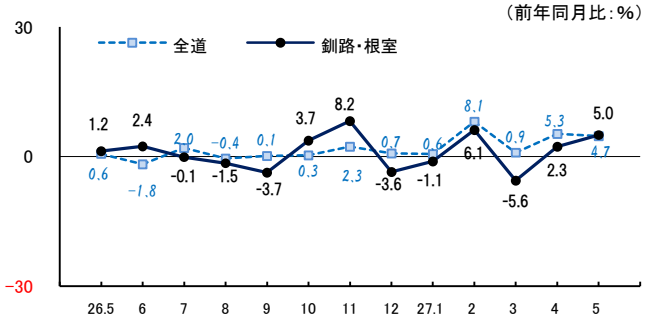
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (6月)◆
3か月ぶりに前年を下回った



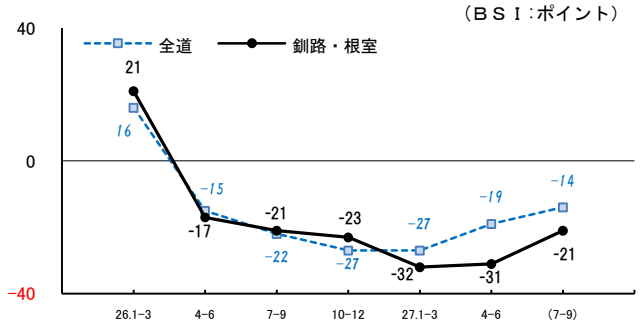
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

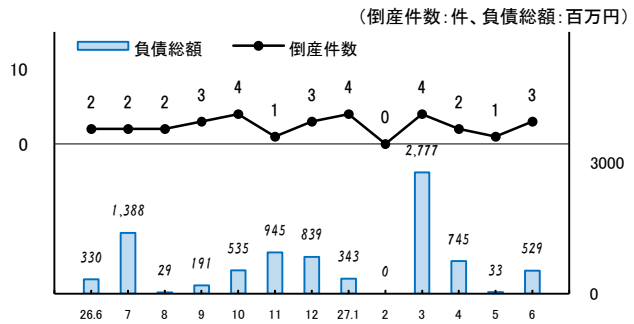
◆企業の業況感 (4−6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



※最新期( )は見通し

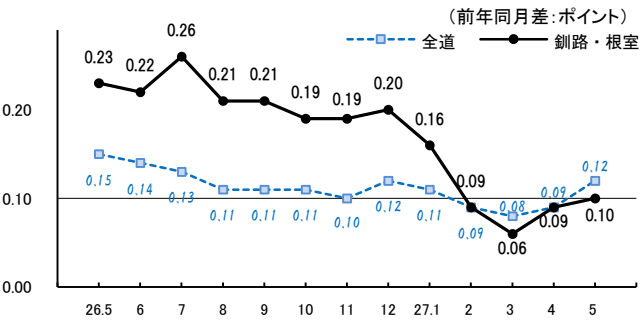
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (6月)◆
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商エリサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (5月)◆
66か月連続で前年を上回った

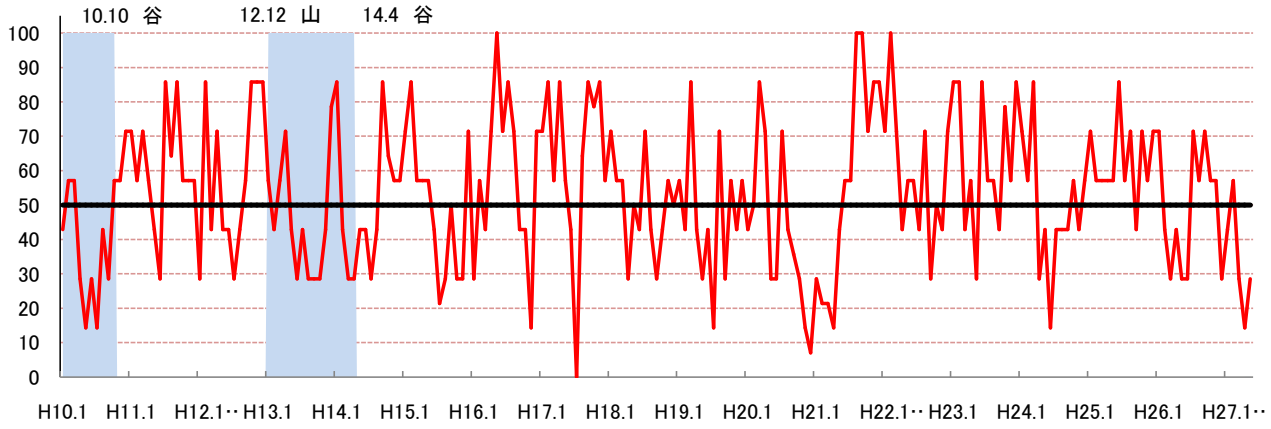


(北海道労働局調べ)

［景気動向指数・全国の景気］

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		26/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	－
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋
	生産指数(生産財)	－	－	＋	－	＋	O	＋	－	＋	＋	＋	r －	p －
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	－	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	－	－	－	-	－
	新設住宅着工戸数	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋
	企業倒産件数(逆サイクル)	－	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	＋
	企業業況判断D.I.	－	－	－	－	－	－	－	－	O	O	O	0	＋
	拡張系列数	1	1	3	1	4	3.5	5	3	2.5	2.5	2.5	3.5	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	14.3	14.3	42.9	14.3	57.1	50.0	71.4	42.9	35.7	35.7	35.7	r 50.0	p 57.1
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	－	－	＋
	生産指数(鉱工業)	－	－	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	r －	p －
	出荷指数(生産財)	－	－	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	＋	r －	p －
	大口電力使用量	－	＋	－	＋	－	＋	－	＋	－	＋	－	－	－
	百貨店販売額(既存店)	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	＋	－	r ＋	p ＋
	着工建築物数(鉱業、建設業用＋製造業用)	＋	－	－	－	＋	＋	＋	－	－	＋	－	－	－
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	－	－	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	－	－	r －	p －
	拡張系列数	2	2	5	4	5	4	4	2	3	4	2	1	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	28.6	28.6	71.4	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	57.1	28.6	r 14.3	p 28.6
遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	＋	＋	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	-	
	完全失業率(逆サイクル)	＋	＋	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	0	O
	消費者物価指数(総合)	＋	＋	－	－	－	－	－	－	－	－	－	-	－
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	－	－	－	－	－	－	＋	－	＋	＋	－	－	＋
	生産指数(資本財)	＋	＋	－	－	－	－	－	－	＋	－	＋	r －	p ＋
	拡張系列数	4	4	1	0	1	0	1	0	4	3	3	0.5	2.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	80.0	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	r 10.0	p 62.5

(注) 1　北海道経済部経済企画室 試算。Pは速報値、rは確報値。

2　景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、増加した時には＋を、保合いの時には0を、減少した時には－をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(＋の数)の割合(%)をDIとする。

DI＝拡張系列数／採用系列数×100(%)（保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。）

■全国の景気

我が国経済の基調判断
～景気は、緩やかな回復基調が続いている。～

・個人消費は、持ち直しの兆しがみられる。
・設備投資は、このところ持ち直しの動きが見られる。
・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
・生産は、このところ横ばいとなっている。
・企業収益は、総じて改善傾向にある。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっているが、一部に改善の兆しもみられる。
・雇用情勢は、改善傾向にある。
・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

内閣府月例経済報告(平成27.7.21)から抜粋＞

最近の経済動向

平成27年7月号

編集・発行　北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm